

# 園児 元気に竹刀振る

## 気合入れ「ちびっこ」剣道教室

熊本公徳会武道場「振武館」の開館85周年を記念して昨年、始まった「ちびっこ剣道教室」が、今年も5月から開かれています。一般財団法人熊本公徳会の主催で、県剣道連盟共催。今年、剣道教室が開かれているのは熊本市の信愛女学院幼稚園と藤崎台保育園、それに山鹿市鹿北町のまほろば保育園。9月からは八代市のひので保育園でも予定されています。また、善隣保育園(人吉市)では、昨年引き続き今年も実施。

各園とも3回開かれます。剣道教室では、振武館の荒木幸一・道場師範、川邊五郎・剣道師範、それに県剣道連盟所属講師の中嶋隆志さん(信愛会場)、川嶋康男さん、池田純洋さん、中嶋昭二さん(以上まほろば会場)が、各園の年長児(藤崎台保育園では年中児も)を対象に指導に当たっています。

初回の教室では、荒木師範が「スポーツは楽しむものだが、武道は人間を磨いていくもの。感謝の気持ちを持ってやるのが大事」と、武道の心構えを説明。礼の仕方や、すり足などの基本動作を指導しました。引き続き、竹刀の持ち方や素振りの仕方を学び、最後に指導者を相手に打ち込みの稽古をしました。

信愛女学院幼稚園(熊本市)



藤崎台保育園(熊本市)



まほろば保育園(山鹿市)



# 道場訪問

## 桜木柔道クラブ 親子3代で指導 全国大会準Vも

熊本市東区花立にある桜木小に面した所に「桜木柔道クラブ」の道場があります。道場手前には「祝 第39回全国少年柔道大会 準備勝」の垂れ幕が下がっていました。道場に入ると70畳の畳が敷き詰められており、奥の棚には各種大会の賞状やトロフィー、盾などが所狭しと並んでいます。また、これまで8回、県代表として全国大会に出場。そのメンバーの写真が壁に張られています。今年5月5日に東京の講道館で開かれた第39回大会では見事、初の準備勝に輝きました。



技のかけ方を学ぶ桜木柔道クラブの子供たち

さん(61)も一緒に指導。今年の県大会での2連覇を目指していましたが、直前に脳梗塞で倒れ入院。父親の章友さんが急ぎよ監督に復帰し、全国の強豪に挑みました。現在、リハビリ中の威朗さん(61)も一緒に指導。将平さん(29)が時々、祖父の章友さんの指導を手伝っています。現在、道場に通っているのは幼稚園児から中学生まで60人。全員が一度には練習できないため、受け身などをした後、二人一組で技のかけ方を学びます。上級生が下級生を指導する姿も見られました。清崎さんは「ほとんどの子が柔道をするのは初めてで、基本をしっかり教えている」と話していました。

## 九州歯科医師の 剣道稽古会開く

第8回九州歯科医師剣道稽古会が4月13日、振武館で開かれました。

講師に尾方正照・範士八段、野口慎一郎・範士八段、荒木幸一・教士八段(振武館師範)をお招きし、全日本歯科医師剣道連盟会長の近江誠一氏(長野県)と副会長の北本純司氏(広島県)をはじめ、九州・沖縄各県より計44人が参加しました。まず野口先生から「剣道の所作・礼法」を詳しく指導いただき、



歯科医師剣道稽古会の参加者

くご指導いただきました。荒木先生からは「素振り」の指導があり、「一挙動の3人が指導。素振り」と「二挙動素振り」について解説・指導をいただきました。面を着けて一時間ほど3人の先生による指導稽古、自由稽古を行いました。他県からの参加者の中には「八段の先生に指導いただく機会が少なく、大変ありがたい」という声も聞かれ、質の高い稽古ができました。(熊本県歯科医師会剣道部 三森康弘)

## 振武館の つぶやき

▼振武館では現在、複数の合気道の団体が稽古に励んでおられます。その熊本の合気道は、元をたどれば今号の「振武館物語」で紹介した砂泊誠秀師範の演武公開に行き着きます。鹿児島出身の砂泊家ですが戦時中、球磨川の上流に縁があつて疎開されており、熊本は無縁の地ではなかったようです。植芝盛平氏は「この武道は火の国から興るんだ」と言われたそうです。砂泊師範は、その予言を自分が体を通してやっていると、半世紀余り自覚のもと、半世紀余りを熊本で尽力されました。その第一歩は、振武館で踏み出されたのでした。

# シルバー世代も まだまだ元気

## 剣道、なぎなた交流大会

60歳以上の人たちが剣道やなぎなたで技を競う交流大会が5月、熊本市中央区水前寺の熊本武道館で開かれ、シルバー世代が元気に躍動する姿が見られました。熊本さわやか長寿財団などが開催した「熊本県シルバースポーツ交流大会」(16競技)の一環で、剣道Ⅱ写真上Ⅱは11日、なぎなたⅡ写真下Ⅱは14日に行われました。この大会の上位入賞者は11月に和歌山県で開かれる「ねんりんピック」に出場します。



剣道は64歳以下、65歳以上、70歳以上の3部門で行われ、60歳代から78歳の参加者は元気な竹刀さばきを見せていました。一方、なぎなたは2人1組の演技と個人で対戦露していました。

正しい竹刀の持ち方を学ぶ園児

結果は次の通り。【なぎなた】▽演技①吉村伊智子・大曲妙子②小島ユリ子・内田知子③緒方代志江・森山純子▽試合①大曲妙子②緒方代志江③森山純子

【剣道】◇熊本県▽64歳以下①石丸隆久▽65歳以上①泉眞喜夫②古川秀文③宮本健一、楯岡明▽70歳以上①山本隆一②米村眞③菊池弘徳◇熊本市▽64歳以下①高野鉄也②永松晋也③山部修治▽65歳以上①奥村國弘②加来三津雄③工藤俊祐▽70歳以上①米倉紘一②村松長晴③古庄久男

## 身を守る技 学びませんか

### 振武館で「護身術教室」

もしもの時のために、親子で、護身術を体験してみませんか。対象は小中学生とその保護者。振武館の荒木幸一・道場師範、川邊五郎・剣道師範、開田豊喜・柔道師範の3人が指導。犯罪の実態や犯罪者の心理、護身術の意義・心構えなどについての講話の後、実技訓練。けがを軽くするための受け身や、手や腕をつかまれた時の抜き方、抱きつかれた時の逃げ方、刃物で襲われた時の対処法などを学びます。

8月3日の西日(10時~11時半)、振武館で「護身術教室」を開催します。参加費は無料。